

聖家族

皆さん、降誕祭から数日後、教会の典礼は、イエス、マリア、ヨセフの聖家族に眼差しを注ぐよう招きます。府中カトリック教会は聖家族という名前なので、今日は私たちの共同体の祝祭日でもあります。皆さん、おめでとうございます。

神の御子が、世のすべての子どもたちと同じように、家族の温かさを必要としていたことを思うのは素晴らしいことではないでしょうか。まさにその事実ゆえに、ナザレの聖家族は、世界中のすべての家族が確かな**拠り所**、理想とする、模範的な家族なのです。

聖霊の働きにより、おとめマリアが受胎した時、ナザレにおいて、神の御子の、人間としてのいのちの春が芽を出しました。ナザレの家庭の中で、マリアの母性的な配慮と、ヨセフの世話に囲まれて、イエスの幼児期は喜びのうちに過ぎていきました。イエスはヨセフの中に、神の優しさを見出していました。

わたしたちは、聖家族に倣い、家庭の教育的価値を再発見するようにと招かれています。その価値は、愛に基づいていなくてはなりません。愛は常に絆を新たにし、希望ある展望を開きます。

家庭が祈りの家となる時、愛情が深く純粹である時、赦しが不和を超える時、日々の生活の困難が互いの優しさと神の御旨への安らかな従順によって和らげられる時、人は家庭の中で誠実な交わりを体験することができます。

こうして、家庭は、快く自分を与えるすべての人に神が与える喜びに、自らを開くことができ、同時に、外へ、他者へ、兄弟たちへの奉仕へ、より良い新しい世界の構築の協力へと開く、霊的な力を見出すことができるのです。それは、人々に前向きな刺激をもたらし、生き方の模範をもって福音を伝える家庭です。

当然、どの家庭にも問題はあります。時には喧嘩もあるかもしれません。それでも、一日の終わりには仲直りをしなければなりません。「冷戦」を翌日に持ち越すことは、ためになりません。家庭には、大切に守るべき三つの言葉があります。それは、「**(…しても)**いいですか?」「**ありがとう**」「**ごめんなさい**」という言葉です。家庭内にこの三つの言葉があれば、その家族はうまくいくでしょう。

今日の祝日は、夫婦と家族の愛の理想をあらためて示しながら、家庭を通しての福音宣教へと、わたしたちを招いています。

最後に聖家族への祈りを唱えて、私たちは聖家族に助けを祈りましょう。全世界の家庭が、聖家族の福音的理想にいつそう魅了されますように。

イエス、マリア、ヨセフ わたしたちはあなたがたのうちに まことの愛の輝きを見、信頼をこめてあなたがたに向かいます。

ナザレの聖家族よ わたしたちの家族をも 交わりの場、祈りの高間、福音のまことの学びや、小さな家庭の教会としてください。

ナザレの聖家族よ 家族の中で決して 暴力も排除も分裂も起こることがありませんように。 傷ついた人、つまずいた人が皆 慰められ、いやされますように。

イエス、マリア、ヨセフ わたしたちの祈りをお聞きください。アーメン。

